



市議会議員 上田由美子 68-2106 Fax 68-2146



参議院議員 井上さとし



前衆院議員 藤野保史

# 核兵器禁止条約発効2周年

## アルビスいすぎる駅店前でアピール

小矢部平和委員会は核兵器禁止条約発効2周年記念行事として、前日の1月21日10時45分から、アルビスいすぎる駅店前で、スタンディングとマイク宣伝を行いました。

## 核廃絶こそ戦争のない世界へ

平和委員会を代表して堀内喜亨さんが、2年間で署名国が92カ国、批准国が68カ国になったと報告。ロシアのプーチン大統領が、ウクライナへ侵略戦争を仕掛け、核兵器をチラつかせて世界に脅威を振りまいたと指摘、核抑止論の誤りを告発しました。

そして核兵器禁止条約こそ、戦争のない世界への正しい道筋であると主張し、日本国民は被爆者の悲願を受け止めて、しっかり声を挙げよう、また、日本政府は唯一の戦争被爆国として、自らも加盟し、米英口中などの核保有国にもこれに加盟するよう積極的に働きかけてほしい、と求めました。

## えっ！大谷博物館に入館料200円？

12月議会に大谷博物館（市内水落）に入館料200円を徴収する議案が提出されました。この議案について上田由美子市議は、市民の皆さんのご意見を伺ってまわり、議会最終日22日に次の反対討論をしました。

### 上田由美子市議の反対討論

私は「小矢部市大谷博物館条例の一部改正」に賛成できません。建物は国の登録有形文化財

大谷博物館の建物は、2013年に大谷家から小矢部市に寄贈された「アズマダチ」の家で、敷地内のすべての建物は、国の登録有形文化財です。主屋には、「農村の暮らし」「庶民の暮らし」として家財道具の展示があり、作業納屋には、昔の農機具が置いてあります。説明書きなどはまだまだ工夫が必要ですが、興味深く見る事ができます。

今回一人200円の入館料を徴収する案が出されました。20人以上の団体は一人160円であり、中学生以下は無料となっています。

### 博物館法では無料が原則

2021年度小矢部市決算によれば、大谷博物館の管理運営費は290万8千円です。収入見込みは、コロナ禍での入場者数から試算し、12万円とのこと。

博物館法によれば、第2条に、「博物館」とは、歴史、芸術、民俗、産業、自然科学などに関する資料を収集し、保管し、展示して教育的配慮のもとに一般公衆の利用に供し、云々とあります。また、第23条に、公立博物館は、入館料その他博物館資料の利用に対する対価を徴収してはならない。とあります。但し書きはありますが、原則は無料としています。

### 博物館は社会に広く貢献

（市が有料化で持ち出した受益者負担という理由付けに対して）私は、博物館で得られた知識や教養は、社会教育の一環として社会に広く貢献すると思います。

## 「防衛費倍増は、暮らし予算を圧迫」

上田市議も訴え

小矢部市議会議員の上田由美子さんも駆けつけ、「岸田政権は敵基地攻撃能力を保持するとして防衛費を倍増させ、暮らしを支える予算を減らし、さらに増税も考えている」と訴えました。

農民連の代表は、戦争になると食料の輸入が困難になり、自給率37%の日本は飢餓に苦しみことになる。戦争はできない国だから、戦争にならないように外交交渉を強めるべきだ、と訴えました。

「大軍拡NOー憲法9条守れ」のボードを掲げた共産党の代表は、「戦争につながる軍事対軍事のお先棒を担ぐのではなく、憲法を活かした米中への仲介外交こそ日本政府のやるべきことだ」と主張しました。



今、姿を消しつつある「アズマダチ」の農家建築様式を残し、当時の人々の農作業や暮らしを見学できる大谷博物館は、小矢部市の貴重な財産です。誰でも気軽に立ち寄り、行事などにも参加できるように、引き続き無料にするべきと考えます。

### 市議会全員協議会 上田市議の質疑

## 「有料化で入場者が減るのでは？」

12月議会初日の12月9日に開かれた市議会全員協議会で、上田市議は「有料化すると入場者が減るのでは」と心配である。入場数と収入はどれだけ見込んでいるのかと質問。文化スポーツ課長は「一般の方は、2018年 1,233名、19年 1,159名、20年 556名、21年 675名の入場があった。収入はコロナ影響下で、12万4千円(200円×620人)と試算している」と答えました。

同課長は有料化の理由として「第3次行財政改革実施計画において、受益者負担の適正化」をあげました。

## 大谷博物館で新企画 4美術館等を ネットで結んで



大谷博物館で23年1月15日から2月28日まで、公益財団法人大谷美術館主催のイノベートミュージアム事業企画による映像配信が行われています。大谷美術館、遠山記念館、渋沢資料館をネットで結んで収蔵品や建物の映像を見る事ができます。写真左の画面は旧古河邸(現大谷美術館)を映し出し、右側に大谷さんの写真を展示しています。新企画ですが、ご覧になって感想をお寄せください。現在は入場無料です。